

「平成29年度多治見市資金運用実績」の公表について

1. はじめに

会計管理者は、毎年度の歳計現金、歳入歳出外現金及び基金積立金の保管と運用を行っており、「多治見市資金管理運用基準」に基づき平成29年度の運用実績を公表します。

2. 歳計現金・歳計外現金の管理運用実績

会計管理者が管理する現金は、日々の支払いに充てる「歳計現金」と県民税や職員の所得税、保険料などを一時的に預かっている「歳計外現金」があります。

通常は決済性預金で保管をしているが、すぐに支払いを行わない資金については1年未満の定期預金で運用を行っています。

平成29年度の運用実績は以下のとおりです。

表1 歳計現金及び歳計外現金の保管、運用実績

区分		現金残高	決済性預金(注1)	定期預金
平均月末残高	H27	4,026,299千円	3,026,299千円	1,000,000千円
	H28	4,761,279千円	3,011,279千円	1,750,000千円
	H29	5,205,778千円	3,155,778千円	2,050,000千円
年間利子額	H27	1,305千円	—	1,305千円
	H28	3,151千円	—	3,151千円
	H29	3,318千円	—	3,318千円
平均年間利率	H27	0.032%	—	0.131%
	H28	0.066%	—	0.180%
	H29	0.064%	—	0.162%

※(注1) 決済性預金は、全額保全される代わりに利子が付かない預金。(基金でも同様。)

3. 基金の管理運用実績

当市では、平成29年度末現在39の基金を設置しており、これらの基金の平成29年度末現在高は、253億円程となっています。

基金の現金は決済性預金で保管を行い、当面基金を取り崩す予定のない部分については、定期預金及び債券(国債・地方債・政府保証債)で運用を行っています。

平成29年度中の運用実績は、以下のとおりです。

表2 基金の保管、運用実績

区分		基金全体	決済性預金	定期預金	債券
平均月末残高	H27	24,043,368千円	4,577,708千円	15,799,296千円	3,666,363千円
	H28	24,438,010千円	4,449,143千円	16,644,340千円	3,344,527千円
	H29	24,746,548千円	3,805,435千円	17,596,506千円	3,344,606千円
年間利子額	H27	49,882千円	—	26,599千円	23,283千円
	H28	50,897千円	—	29,616千円	21,281千円
	H29	42,210千円	—	20,281千円	21,929千円
平均年間利率	H27	0.208%	—	0.168%	0.635%
	H28	0.208%	—	0.178%	0.636%
	H29	0.171%	—	0.115%	0.656%

4. まとめ

- 歳計現金及び歳計外現金については、前年度に引き続き、基金の繰替運用を活用しながら定期預金の預入金額を増加して利子の確保に努めたが、預金利率が低下したため、年間利子額は前年度に比べ16万7,000円(5.2%)の増加に留まりました。
- 基金については、平均月末残高は247億4,600万円で前年度から微増(1.3%)したが、年間利子額は4,221万円と前年度から868万円の大幅(17.0%)な減少となりました。
日本銀行の金融緩和政策が継続され定期預金の利率が更に低下したため、1年物の多い定期預金の利子が前年度の2,962万円から2,028万円へ934万円の大幅(31.5%)な減少となりました。
- 金融緩和政策の継続により、以前にも増して運用益の確保が難しい状況が続くものと見込まれますが、今後も最も確実かつ有利な資金運用の検討と実践に努めていきます。